

第 74 回政策研究大学院大学経営協議会議事要旨

- 日 時 : 2019 年 3 月 25 日 (月) 15 : 30 ~ 17 : 13
- 場 所 : 政策研究大学院大学 会議室 3C
- 出席者 :
 - [学外委員]
石田委員、今井委員、奥委員、嶋津委員、長谷川委員、林(文)委員
林(康)委員
 - [学内委員]
田中学長、増山理事・副学長、横道理事・副学長、小島理事、角南副学長、
園部副学長、道下学長特別補佐
 - [委員以外の者]
宇佐美監事、林(礼)監事
- 欠席者 :
 - [学外委員] 名取委員、板東委員、藪中委員
 - [学内委員] 渡邊大学運営局長

I. 協議事項

1. 学長ヒアリング

学長から、2018年度の実績報告があった。その後委員との間で質疑応答・意見交換が行われた。

2. 2018 年度修了者及びこれまでの修了生の状況について

学長から、2018 年度修了者及びこれまでの日本人修了生、外国人修了生の状況について報告があった。

II. 審議事項

1. 2019 年度大学運営方針重点事項(案)及び年度計画(案)について

横道理事から、2019 年度大学運営方針重点事項 (案) 及び年度計画 (案) について説明があり、これを了承した。

2. 2019 年度運営費交付金内示の概要及び学内予算(案)について

岩渕財務マネジメント課長から、2019 年度運営費交付金等内示額の総額は、対前年度 8 百万円減の 2, 104 百万円であり、独自 KPI による機能強化経費に対する評価及び 2019 年度予算より新たに導入された基幹経費に対する全大学共通の客観的指標を用いた評価による配分結果等概要について説明があった。続けて、2019 年度学内予算 (案) について、収支構造、学長裁量経費の配分計画について (案)、大学運営調整費の配分に関する取扱い、予算編成方針、運営費交付金事業に係る収支、前期目標期間繰越積立金及び目的積立金の予算配分について等の説明があり、これを了承した。

◆学外委員からの主な意見は以下のとおり。

- ・文部科学省の配分方法そのものについて、客観的な理由に基づき意見を言うべきではないか。
- ・重点支援②のグループについては制度が変われば特にその影響が大きく、その実態について多方面で意見を言うことが必要ではないか。
- ・SDGs は未来永劫の課題であり、ぜひ積極的に取り組んでいただきたい。

- ・国の設定する大学評価の基準や水準については、日本の教育全体の難しい課題と考える。一方で、GRIPSの今年の年度計画には、かなり積極的な数値目標も掲げられており、未達成とならないよう注意深く進める必要があると考える。

3. 2019年度政策研究大学院大学運営体制(案)について

学長から、2019年度政策研究大学院大学運営体制(案)について説明があり、これを了承した。

4. その他

特になし。

Ⅲ. 報告事項

1. 2019年度医療政策短期特別研修、農業政策短期特別研修、及び地域コミュニティの政策イノベーション能力(つなぐ力)開発研修の実施について

横道理事から、2019年7月から8月に2019年度医療政策短期特別研修、農業政策短期特別研修、及び地域コミュニティの政策イノベーション能力(つなぐ力)開発研修を本学において実施する旨報告があった。

2. その他

学長から、広報紙「Pensée」第3号(奥正之委員)、特別号(潘基文氏)、同窓会ニューズレター第1号及びSDGsリーフレットの発行について紹介があった。

以上